

様式第 1 号(第 8 条第 1 項・2 項関係)

平成27年4月20日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

福島町議会議員 溝 部 幸 基^印

平成 2 6 年度政務活動費に係る収支報告について

福島町政務活動費の交付に関する条例第 8 条の規定により、別紙のとおり
平成 2 6 年度政務活動費収支報告書を提出します。

注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。
2 政務活動費の科目ごとに様式第3号を1葉として提出

政務活動費調査等報告書①

1 事業名

「館崎遺跡埋蔵物の保存と活用に関する視察調査」(調査研究費)

- ・視察日 平成27年1月6・7日
- ・視察地 ①磯谷埋蔵文化財保管庫(旧磯谷小学校)(函館市)
②北海道埋蔵文化財センター(江別市)

2 事業内容

① 「遺跡埋蔵物の保管状況について」(磯谷埋蔵文化財保管庫:旧磯谷小学校)

＜視察説明者＞ ・函館市教育委員会学芸員

② 「館崎遺跡発掘埋蔵物の状況について」(北海道埋蔵文化財センター)

＜視察説明者＞ ・理事長 坂本 均 ・第2調査部長 三浦正人
・第1調査課長 中山昭大 ・々主査 景浦 寛・福井淳一

3 成果

＜視察に至る経緯＞

○教育委員会の説明(旧吉岡小学校周辺公共施設跡地利用計画に関する調査特別委員会等)

- ・当初は館崎遺跡の埋蔵文化財を展示するスペースと収蔵庫を包含する案を示した。
- ・施設機能の再考により収蔵庫を削除し建設費の圧縮を図ることとした。
- ・館崎遺跡埋蔵物の展示については、既存公共施設での対応を検討し、収蔵については、旧浦和小学校を中心とし、旧白符小学校も活用する方向性を示し補修費計上(旧浦和小)の説明があった。

→議会では町内視察(総務教育常任委)の際に旧浦和小学校の現況を検証した。

結果、学校に至る道路の整備が必要であること、木造の校舎で対応できるのか疑義がでた。

⇒道埋蔵文化財センターで進めている館崎遺跡埋蔵物の状況(収蔵方法、量、復元、返還時期)、南茅部(函館市)地区の埋蔵物収蔵状況を視察調査(政務活動)することとした。

＜縄文遺跡保存に関する函館市の取組み＞

- ・北海道側:函館市の国指定遺跡大船遺跡、垣ノ島遺跡、千歳市、伊達市、森町(鷲ノ木遺跡)、洞爺湖町、北東北:青森県(三内丸山遺跡他8遺跡)、岩手県(1)、秋田県(2)
北海道、青森県、岩手県、秋田県、4道県の18縄文遺跡群を貴重な宝であり未来に残すべき文化遺産であるとして、世界遺産登録を目指している。

- ・磯谷埋蔵文化財保管庫(旧磯谷小学校)

延床面積:1,136㎡(2階建 校舎-鉄筋コンクリート 体育館-鉄骨造)

概要:国史跡大船遺跡等から出土した遺物の保管(約12,000箱の遺物、1,000点の民俗資料を保管)

管理:無人(管理費@7,000:電気料、消防関係保守点検)

→学術的な調査等のため、遺物の保管は重要であり、報告書の内容にそって確認が可能な管理・保管が必要である。(特に報告書記載の遺物については、資料についての問い合わせ(確認)があり、適宜対応できる整理保管が必要である。過って火災によりプラスチック箱が溶けて遺物に付着し変容させてしまったことがあったので木製箱で保管すべきである。)

→発掘調査については、旧南茅部町時代から経験のあるNPO(6名)が対応している。

→学芸員から、館崎遺跡は、南茅部の遺跡に比べて復元できる遺物が多く貴重な遺跡であるとの話があった。

→世界遺産登録に館崎遺跡も含めてはとの問いには、現在の状況では難しく、登録後、状況に応じて対応を検討することになるとの話でした。(今後の発掘の展開によると解釈した。)

＜北海道埋蔵物文化財センター＞

・館崎遺跡の概要

位 置：白神岬北東 6 km、標高 24m、海岸線直線 250m

調査面積：2,151 m²

遺 構：竪穴式住居跡 55 軒、土坑 125 基、集石 32 か所、小ピット 390 ヶ所他

遺 物：土器約 91 万点(復元約 950 個)、石器約 20 万点

その他：人骨(約 10 体)、大型岩偶(39 cm)、玦状耳飾(約 50 点)

返却遺物(概算)：復元土器 150 箱(80×40×40 cm)、コンテナ 2,500 箱(60×40×15 cm)
盛土剥ぎ取り土層 10 枚(60×40×15 cm)、台石・石皿数十個

- 縄文時代、北海道側の交通・物流の拠点的な役割をしていたと推測される、三内丸山に匹敵する遺跡であり、未調査地域(後背地)が続いており、調査範囲を広げると相当な数量を発掘できる可能性が高い。
- 返還時期の延期については、保管している元自治研修所の管理所管が道総務部であり、使用料を負担する関係から難しい。

*館崎遺跡については、青函トンネル工事に関連した施設整備工事中に地下遺構が発見され、その後、昭和 48 年から 60 年までに 5 回にわたり発掘調査(約 2,590 m²)が行われている。この調査により、円筒下層式(5～6 千年前)、円筒上層式(3～4 千年前)と縄文文化を代表する大型円筒形式土器が多く発掘されていた。

遺構：盛土遺構、竪穴式住居跡 6 軒、土坑 22 基等

＜検証と今後の対応＞

- ・道埋蔵文化財センターホール中央に展示されている大型円筒土器(約 100 点)、日本最大とされる大型岩偶、玦状耳飾、人骨等々や復元の様子等を見せていただき、数の多さ、精巧な作りに圧倒させられた。職員の皆さんの真剣な取り組み姿勢を目の当りにし、受入態勢をしっかりとしなければとの思いを新たにしました。
- ・町長はできるだけ早く道埋蔵文化財センターへ伺い、自分の眼で遺物を見て、館崎遺跡についてしっかり説明を聞いてくるべきであり、教育委員会も、もう 1 度、職員だけでなく、教育委員・文化財調査委員ともども視察研修すべきものと考えます。また、今後の対応について、町全体で検討すべき重要な事案であり、町内会連合会の研修に合せ各町内会長にも視察研修する機会を持つべきと考えます。議会としても、今回は政務活動での視察研修で 5 名のみの対応であり、今後、議員会の活動として予定している札幌福島会総会への出席の際に全議員で視察研修する事を提言した。
- ・教育委員会では、昨年秋に視察に来て状況を把握されているとの事であったが、吉岡総合センターの検討段階で、館崎遺跡について充分理解できる説明がなく、活用について充分審議できなかったことは大きく反省しなければならない。
- ・館崎遺跡の価値を充分検証し、28 年度の遺物等返還までに、遺物の活用、保管について検討し方向性を示さなければならないと思います。
- ・大量の遺物保管場所は、事後調査への対応、重量負荷等を考慮した場合、場所、面積、構造を充分検討する必要がある。⇒旧浦和小学校は、不適であると判断します。
- ・今後の発掘については、調査財源の厳しい状況はありますが、北海道、北東北縄文遺跡群の世界遺産へ向けた運動展開を見据え、検討しなければならない課題であることを指摘しておきます。

様式第 3 号(第 9 条第 1 項関係)

政務活動費調査等報告書②

1 事業名

「調査研究」用資料購入（資料購入費）
・参考図書購入

2 事業内容

- ① 「自治体法務研究・夏秋冬春各号」（ぎょうせい）
4冊 4,800円（@1,200） ← 領収書②-1
- ② 「レジャー白書」（日本生産性本部）
1冊 7,560円 ← 領収書②-2

計 5冊 12,360円

3 成果

議員活動の参考として活用

注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

政務活動費調査等報告書③

1 事業名

「調査研究」用事務費（事務費）
・事務用品購入

2 事業内容

- ① インクカートリッジ（キャノン）
1 セット 5,500円（6 色）
- ② コピー用紙（A4：500枚入）
1 罫 600円
消費税 488円（6,100×8%）

合 計 6,588円 ← 領収書③-1

3 成 果

議員活動（調査研究）の事務用品として活用

注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

「館崎遺跡の保存・活用調査関連視察」会計報告書

(函館市旧磯谷小学校・北海道埋蔵文化財センター)

(平成 27 年 1 月 16 日～17 日)

(単位：円)

項 目		決 算	摘 要
政務活動費対応分	宿 泊 費	32,500	ポールスター：@6,500×5 名
	交 通 費	104,450	JR @19,018×5 名=95,090 円(森～函館：往復) タクシー 7,810 円 (4 回：7 台) *註① 地下鉄 @310×5 名=1,550 円(新札幌～大通り)
	車 輦 費	17,623	車輦借上げ @5,000×2=10,000 ガソリン 3,203+4,420= 7,623
	諸 雑 費	6,100	お土産 @2,050×2 個=4,100 写真代 @400×5 名=2,000
	計	160,673	160,673÷5 名=@32,134.6 ←領収書(写)添付

*註①：新札幌～道埋蔵文化センター (@1,470×2 台=2,940)

道埋蔵文化財センター～旧自治研修所体育館 (@750×1 台=750：埋蔵文化財センター車両便乗)

旧自治研修所体育館～新札幌 (@1,230+@1,310=2,540)

大通り～ポールスター (@670+@910=1,580)

*政務活動費計上額 **32,134 円**

<参加議員>・木村 隆・熊野茂夫・平野隆雄・川村明雄・溝部幸基